

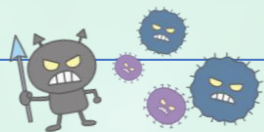


謙仁会居宅介護支援事業所



いよいよ暑い暑い夏がやってきます。
夏になると気をつけたいのが食中毒…

食中毒とは？



食中毒を起こすもととなる細菌（さいきん）やウイルス、有毒な物質がついた食べ物を食べることによって、げりや腹痛、発熱、はきけなどの症状（しょうじょう）が出る病気のことです。食中毒の原因によって、病気の症状や食べてから病気になるまでの時間はさまざまです。時には命にかかわるとてもこわい病気です。細菌による食中毒にかかる人が多くするのは気温が高く、細菌が育ちやすい6月から9月ごろです。ウイルスによる食中毒は冬に流行します。また、キノコや魚のフグなどには、自然に有毒な物質を含んでいるものがあり、気付かずに食べることによって食中毒になることもあります。食中毒を起こす細菌は、土の中や水、ヒトや動物のひふや腸の中にも存在していて、特別な菌というわけではありません。そのため、食品を作る途中で菌がついてしまったり、家庭で料理したものを、あたたかい部屋に長い時間置いたままにしておくと、細菌が増えてしまいますので注意して下さい。



食中毒予防の3原則

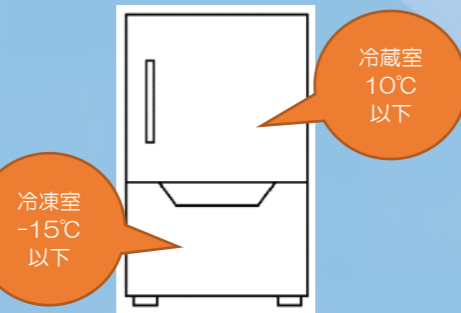
つけない

- 手洗い・手袋の着用
- 器具を使い分ける
- 清潔な調理器具を使用する



ふやさない

- 低温で保存する
- 詰め込みすぎない（7割度）



● 調理後は早めに食べる！！

やっつける

- 中心部まで十分加熱
- 器具の消毒



職員紹介

山本 ひとみ
資格：介護福祉士
介護支援専門員



5月1日よりお世話になっていきます。まだまだ分からない事も多々あり皆様にご指導頂き、仕事ができております。宜しくお願ひ致します。

『要介護認定について』



謙仁の社にて講話を行いました。
皆さん熱心に聞いて下さいました！！



謙仁会 在宅ケアサポートセンター

居宅介護支援事業所 訪問看護ステーション 訪問介護事業所
電話 24-9388 FAX 22-1120 令和4年8月発行 第41号
謙仁会ホームページ <http://www.kenjin-kai.com/html>

田植えがすみ、稲の成長を祈りながら、暑さをむかえる季節になりました。ここ2年ほど新型コロナウイルス感染防止の為に、それぞれの地域の行事や催し物が自粛されてきましたが、これからは感染の広がりを抑えながら社会活動を行っていく考えに変わ



ってきました。今年は3年ぶりとなる伊万里の夏「どっちゃん祭り」が開催されます。ステージイベントや踊り、女みこしも見られます。規模は縮小されると思いますが今年の夏が少しでも以前の活気に戻ればと思います。

夏の行事、祇園祭りには

病魔や災害を退散させる力があると信じられています。昔は人の病気や農作物の病害虫、台風などの災害や水難事故などがおきるのも御霊（ごりょう）と呼ばれる怨霊のせいだと考えられていました。御霊をなだめるために御霊会（ごりょうえ）という祭りが盛んになり、のちに祇園祭りとして流行病のきざす旧暦六月十五日に営まれるようになったそうです。

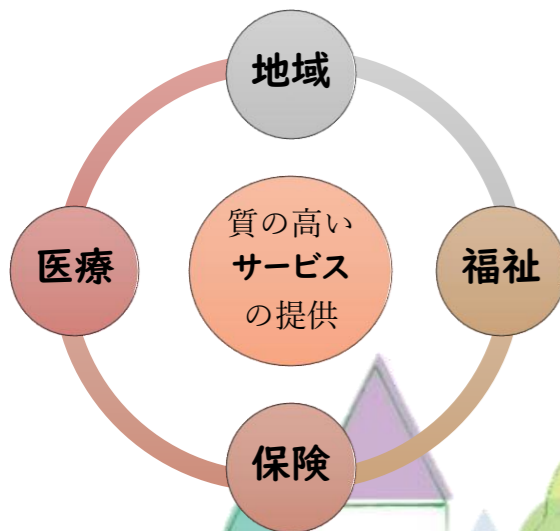
～出張介護教室～

在宅ケアサポートセンターでは、電話や窓口での相談はもちろん、老人会や婦人会など町の寄り合いに出向き、支援されている皆さまの不安の解消など少しでもお役に立てるよう介護教室（相談会）を随時受け付けております。



日頃よりお世話になっております。コロナ感染症予防のため、皆様の生活におかれましては、活動の制限や行動範囲の縮小化で、精神的負担も多いのではないのでしょうか。その中で今後も謙仁会ヘルパーは、利用者様、ご家族様のサポートを精いっぱいできるように努めてまいります。

今回の記事は、ヘルパーの業務内容の**多職種連携・終末期ケア**について紹介させていただきます。私たちに何を求められているか何が大切なのか、在宅ケアは今後益々の重要性を増し**病院→施設→在宅→地域**へと移り変わっていく中で介護職は医療や福祉など専門分野に携わる人たちと一つのチームとなりサービスを提供していきます。



多職種連携・・・それぞれが専門分野で役割分担し一つのチームとなり利用者様の支援を行います。

質の高いケアを提供するために、同じ目標に向かいケアを行います。

重度の要介護状態になっても馴染み深い地域で最後まで暮らせるよう少しの関りかもしれませんがお手伝い出来たら幸いです。

終末期ケア・・・終末期ケアは、人生の最後が近づいてきている人とそのご家族が残された時間をその方らしく穏やかに過ごしていただくために行うケアの事です。精神的安定や生活の質を優先させたケアが行われることを言います。ヘルパーは、在宅で利用者が安心して過ごせるようにサポートさせていただきます。

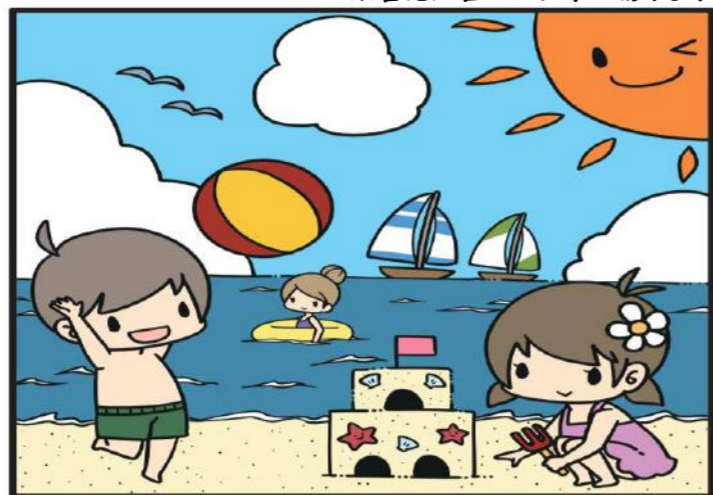
ヘルパーの仕事は、医療的なことはできませんが、多職種連携を図る事で終末期の利用者様への支援が行えます。利用者様の人生に関わることができる素晴らしいお仕事だとまた改めて感謝し、やりがいを感じながら今後も精いっぱいの支援をさせていただきます。これこそが在宅ケアの魅力だと思っています。♡♡♡



まちがい探し「海水浴」

左右の絵には間違いが**5つ**あるので探して○で囲んでください。

※答えは右ページ下にあります



訪問看護ステーション なないろ

真夏のキケン



熱中症とは？

体温が上がり、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり体温の調整機能が働かなくなったりして、体温の上昇やめまい、けいれん、頭痛などの症状が現れる。



熱中症警戒アラートが発表されたら...

- 屋外での運動や活動を中止、または延期して不要不急の外出をできるだけ避ける。
- 熱中症になりやすい高齢者、子ども、障害者の方々に積極的に声をかけ暑さを避ける。

熱中症を引き起こす暑さは、気温、湿度、地面や建物からの輻射熱など、周辺の熱環境と深く関係しており、暑さの厳しさを示す指数(WBGT)で発表される。

新型コロナウイルス感染症予防と熱中症予防

- 屋外で人と十分な距離(2m以上)が確保できる場合は、適宜マスクを外して休憩する。

(気温、湿度の高い中でマスクをすると熱中症のリスクが高くなる)

- 窓を開けて換気を行いながら、エアコンを使う。

- 暑い時間帯の外出を避けて、こまめに水分補給。

- 外出時に日傘や帽子を活用。

